

「森林ボランティアリーダー・サブリーダー研修」について

私たち木曽広域連合は、長野県木曽地域（木曽町、上松町、南木曽町、木祖村、王滝村、大桑村）の3町3村で構成されている特別地方公共団体で、介護保険やごみ・し尿処理、消防、文化ホール、ケーブルテレビ、老人ホーム等、様々な行政サービスを広域的に実施しています。

また、この地域はヒノキをはじめとした豊富な木材の供給地であるほか、木曽川の最上流域に位置していることもあり、水源地域の森林保全を目的として、愛知県を中心に木曽川下流域の皆様との交流を積極的に進めています。

中でも愛知中部水道企業団（豊明市、日進市、みよし市、長久手市、東郷町で構成される特別地方公共団体）との交流では、平成15年に森林整備協定を締結し、上下流双方で水道使用量1tあたり1円の基金を積み立て、木曽地域の民有林における間伐等に活用、これまでに8,000haを超える森林の整備を実施してきたほか、上下流双方の住民参加による木曽地域の植樹・育樹活動を実施するなど、深いつながりを持っています。

今回実施したのは、森林の持つ機能や森林整備の重要性等を下流域において啓発する役割を担うため平成18～19年に育成した「森林ボランティアリーダー」の技能維持と、彼らをサポートする「サブリーダー」の育成を目的とした研修会です。

写真は、平成27年10月4日（日）に木曽町の町有林で行った獣害対策の体験作業の様子で、(株)グリーンコップ様の製品を利用させていただきました。地元森林組合職員の指導を受けながら、丁寧にテープやネットを巻きつけていきました。参加者全員にとって初めての体験でしたが、比較的簡単な作業で、およそ40分の間に数十本のヒノキに装着することができました。

今後、この作業による効果が発揮され、「クマ剥ぎ」の被害が減ることを願うばかりです。

研修参加人数

森林ボランティアリーダー：5名（リーダー研修受講者）

サブリーダー：10名（愛知中部水道企業団職員）

スタッフ6名：（長野県木曽地方事務所、木曽森林組合、木曽広域連合）